

わが職場

西野興産株式会社は、大正9年7月に現在の三豊市詫間町の塩浜、「西野浜」を基礎に西野塩田と言う名の会社組織として発足しました。なお名前は「金陵」の醸造元であり、西野浜の築造者でもあった西野嘉右衛門氏よりいただいております。

なお、イオン交換膜法により高品質で安価な塩を安定的に生産できるようになったこと、昭和46年の「塩業の整備及び近代化の促進に関する臨時措置法」に伴い12月末日に西野塩田株式会社を解散し西野興産として再出発いたしました。

元々、塩田で働いていた人々の再就職先としての面があったこと、会社役員に地元の有志が参加していたことにより地元貢献と詫間の発展を理念とするようになりました。

事業の中心は、塩田跡地を都市計画事業により

造成されて出来上がった土地の売却と運用で成り立っています。

そのほかに、多くの事業を展開しております。

過去にはホテル業やゴルフ練習場、飲食業としてのレストランやうどん屋なども運営していましたが、これらについては収益性の悪化や同業他社との競争により撤退しています。現在では、以下の3つの事業を展開しています。

一つは介護事業。デイサービス・グループホーム運営を行っていて、利用者の食事や入浴、レクリエーションなどの日常生活上の支援をしています。12月クリスマス会、4月の花見等の季節ごとの行事にも力を入れており、ご家族の介護負担の軽減や、利用者の生活の質の向上を第一に考え職員一同、利用者の安全性と快適性の維持に取り組んでいます。

もう一つは発電事業で、土地の利用の一環として、太陽光パネルを使った発電事業を行っていて、最

大4Mwの電気を詫間町と仁尾町に送電しています。特に安全については

気を配っており、機器による監視だけではなく、定期的な点検と見回りを欠かさず行っています。

最後の一つは洗濯事業で、スーパリーの横でコインランドリーを営んでおり、機材のトラブルが発生した場合には、職員がすぐに現場に赴いて対応できる体制を整え、機械の故障と判断した場合、迅速に業者の方へ修理を依頼しその立会いを行っています。毎日の清掃に気を遣いお客様に気持ち良くご利用いただけるよう心がけています。そのため開業してから20年近く経過していますが、現在でも多くのお客様にご利用いただいています。

これからも、様々な事業を展開し、会社自体の成長を続けると同時に、地元への貢献や、町の発展への努力を続けてゆこうと考えております。

西野興産株式会社

常務取締役 松田 雅史